

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ユウゲンガイシャニンギョウゲキダンクラルテ 有限会社人形劇団クラルテ		
代表者職・氏名	代表取締役 八弮恵子		
制作団体所在地	〒 559-0015		
	大阪府大阪市住之江区南加賀屋3-1-7		
電話番号	06-6685-5601	FAX番号	06-6686-3461
ふりがな 公演団体名	ニンギョウゲキダンクラルテ 人形劇団クラルテ		
代表者職・氏名	代表 鶴巻靖子		
公演団体所在地	〒 559-0015		
	大阪府大阪市住之江区南加賀屋3-1-7		
制作団体 設立年月	1964年7月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 八弮恵子 取締役 松本則子	団体構成員 合計32名 劇団員18名 劇団員補3名 研究生1名 職員1名 嘱託9名	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	松澤美保
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	室田美幸

<p>制作団体沿革</p>	<p>1948年創立 1964年に法人格取得 1982年大阪市住之江区(現住所)にアトリエ竣工 2010年神戸事務所(兵庫県神戸市)設置 2016年一般社団法人人形劇団クラルテ設立</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2013年度『あらしのよるに』26公演、『サーカスのライオン』17公演、『いえでででんしゃ』20公演、 高校『新・動物農場』1公演、他 2014年度『あらしのよるに』25公演、『サーカスのライオン』27公演、『いえでででんしゃ』8公演、他 2015年度『あらしのよるに』21公演、『サーカスのライオン』16公演、『いえでででんしゃ』3公演、他 2016年度『あらしのよるに』36公演、『サーカスのライオン』16公演、他2公演 2017年度『あらしのよるに』9公演、『いえでででんしゃ』24公演、他2公演 2018年度『あらしのよるに』15公演、『いえでででんしゃ』12公演、 中高一貫校『ハムレット』1公演、他2公演 2019年度『あらしのよるに』19公演、『いえでででんしゃ』4公演、 『トクントクンーいのちの旅ー』2公演、他1公演 2020年度『あらしのよるに』15公演、『いえでででんしゃ』7公演、 『トクントクンーいのちの旅ー』16公演</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>2013年度1校 2014年度5校(うち1校は本事業にて『あらしのよるに』山口県立山口総合支援学校) 2015年度1校(本事業にて『あらしのよるに』宮崎県立児湯るびなす支援学校) 2016年度1校 2017年度3校(うち1校は本事業にて『あらしのよるに』兵庫県立赤穂特別支援学校) 2018年度3校(うち1校は本事業にて『あらしのよるに』福岡県立太宰府特別支援学校) 2019年度1校 2020年度なし</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p></p> <p></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団クラレテ】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	『あらしのよるに』			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『あらしのよるに』 原作/木村裕一 講談社刊「あらしのよるに」シリーズ1～6巻より（日本図書館協定選定図書） 脚色/東口次登 演出/三木孝信 美術/西島加寿子 音楽/一瀬季生 照明/永山康英 公演時間(75分)			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる 取得済 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	～本当の友だち～ 立場を越えて相手を思いやり、心を通じ合わせる事の素晴らしさを、命のドラマを通して子ども達に伝えられたらと願います。ダイナミックな人形劇でお届けいたします。 《あらすじ》 あらしの夜、暗闇の小屋の中でオオカミのガブとヤギのメイが出会い、カミナリに震えながら嵐が過ぎるのを待っていた。真っ暗な中、互いを仲間だと思い込んだ二匹は、語り合い、すっかり意気投合してしまった。このまま別れることを寂しく思い、「次は明るい空の下でピクニックに行こう！」と約束をした。合言葉は「あらしのよるに」。そして二匹は相手の正体を知り、驚きながらも、「食いたい」という欲望を理性で押さえ込むガブと、無邪気なメイ。そんな二匹が無二の親友になるには時間はかからなかった。しかし、ガブは仲間のオオカミに「ヤギはえさだ。えさと友達になつたりしたら、俺たちは生きられないんだ」と言われ、メイも「生まれた時から一緒に俺たちと、この間知り合ったばかりの友達とどっちが大切なんだ」と責め立てられることに。オオカミとヤギが幸せに暮らせる新天地を目指して、二匹は歩き始めた、息もつけない吹雪の中へ……。			
演目選択理由	人形劇でしか見られない『あらしのよるに』 『あらしのよるに』は絵本の世界から飛び出し、演劇、ミュージカル、テレビ、映画などで取り上げられている。しかし、絵本の世界を立体的な空間に置き換え、フィクションとリアリズムを追求できるのは、人形劇のみである。違いを恐れ、守りの為に攻撃してしまい、自らも、周りの人達も信頼できにくい現代社会を懸命に生きる子ども達に、ぜひ、オオカミのガブとヤギのメイとの敵対関係を乗り越えた友情を感じ取って欲しい。 特に、作品のテーマを深め、奥の深い人形劇を感じていただく為にも、この機会に思春期の中学生へも作品を届けたい。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	舞台は体育館のフロアに組み、客席から間近なところで上演します。 子ども達にはオオカミ・ヤギの人形を1体ずつ作ってもらい、その人形を使って劇の冒頭部分に児童が出演する場面を作ります。ガブとメイが会おうきっかけとなる「嵐になる場面」をヤギ役とオオカミ役の2グループに分かれて実際に舞台上で演じてもらいます。ヤギ達が草原でのびのびと草を食べていると、腹ペコのオオカミ達がそれを発見し、襲いかかります。追いかけてっをしながら風が吹き嵐となり、雷や突風にお互い逃げ惑う。ここまでのシーンを劇団員と共に演じてもらいます。先生方にもその際、劇団員と共に風の役としてご協力いただきたいと思ひます。			
出演者	松原康弘、鶴巻靖子、梶川唱太、竹内佑子、日高拍、徳永颯希、白國亜衣、松村瑞姫			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 8 名 スタッフ: 1 名 合計: 9 名	機材等 運搬方法	積載量: 2 t 車長: 6 m 台数: 2 台 ※うち1台はワゴン車	

【公演団体名 **人形劇団クラルテ** 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み		有	会場設営の所要時間		2.5 時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時半 リハ11時～ 11時45分	13時～ 14時20分	0分	14時半～ 16時	16時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		40名程度まで			
	本公演		500名程度まで(出演参加20名程度まで)			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>① 人形をつくる・・・ヤギかオオカミの人形を一人一匹ずつ製作する。</p> <p>② 人形で表現・・・製作した人形で基本動作を表現する。歩く、走る、感情による動きの違いなど。</p> <p>さらに、グループごとに人形で場面や感情をイメージして表現してもらい、人形をどう遣うと、どう見えるかを知ってもらい、自分がイメージしたように表現できているか、お互いに見合う。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら表現しながら相手の表現を感じ、感情や表現のやり取りをすることで表現力、コミュニケーション力を伸ばし、劇の楽しさを感じてもらい。 ・集中力、協調性を養い、全員で一つのものを作り上げる演劇の醍醐味を味わってもらい。 ・人形を遣うことで、自身の身体で行う表現よりも大胆にデフォルメされた表現がしやすくなる。そのことにより自己を解放しやすい状態になり、表現することや劇世界の楽しさをより知ることができる。 ・自分で工夫して作った人形は愛着を持って、感情移入しやすくなり、劇体験が取組みやすくなる。 					
特別支援学校での 実施における工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップは事前に先生と相談し、必要な場合は学校ごとに特別メニューで対応する。 ・本番前に登場する人形を間近で見、触れてもらい、作品の世界により入り易くする。 ・ワークショップの進行について、児童が見通しを持てるように、流れを紙に書くなどをして分かりやすく説明する。 					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	J126	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	J	区分	A区分
公演団体名	人形劇団クラルテ				制作団体名	有限会社 人形劇団クラルテ			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数*	1室	条件	昼休憩用に使用				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		2tトラック	1台	バン	1台		不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細								
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		2tトラック(長さ6m、幅2m、高さ217cm)、ワゴン車(長さ5m以下、幅2m以下、高さ2m)					可	
	搬入車両の横づけの要否*		要					可	
	横づけができない場合の搬入可能距離*		10m以内					可	
	搬入経路の最低条件		・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。					可	
	理由		大道具、人形等の搬入があるため。						
	設置階の制限*		問わない					可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	2m		可	
WSIについて	参加可能人数	40名程度まで					可		
	学年の指定の有無*	あり	指定学年*	高学年	中学年		可		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度(2時限)					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		500名程度まで					可	
	舞台設置場所*		ステージ上・フロアの両方					可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	8m	高さ	5m	不可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		要					可
		舞台袖スペースの条件*		両サイド着替えに使用					可
		緞帳*	不要		バトン*	要		可	
	遮光(暗幕等)の要否*		要	理由	影絵の場面があるため			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—	
		ピアノの事前調律*		不要					—
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		60A	※主幹電源の必要容量				不可	
	その他特記事項							応相談	
電源は分電盤(単相三線60A以上)から直接ひかせていただきます。							不可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

